

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間:2023/10/01 ~2023/10/31)

(勉強面)

1. 授業

10月は各教科で第1回目のテストが行われました。私は、Data Analytics(DA)とIndustrial Effluent Engineering(IEE)の2つのテストを受けました。テストの内容は授業中や授業とは別のTutorialという演習で行う問題と類似のものが出題されました。授業中の問題の解説はとても早く、追いつかないので授業後、友達や先生に聞いて解決していました。また、事前に友達から過去問をもらっていたのでテストの対策をすることができました。やはり同じクラスの友達を作って頼ることが重要だと感じました。

右の写真(写真16)は、IEEの授業中の様子です。授業形態はほとんど日本と変わらないと思います。しかし、UTPで教科書を使っている人を見たことがありません。すべて、担当の先生が自作したスライドを使って授業が行われます。それゆえ、半数以上の生徒がタブレットを所有し、タブレットに書き込んでいます。タブレットを持っていない生徒は、紙に印刷したり、スマホでスライドを見ながら、ノートをとったりしています。また、UTPの生徒は、日本の学生と比べてとても勉強熱心です。授業は2時間行われますが、その間居眠りをする人や他の作業をする人はおらず、皆一生懸命に授業を聞き、ノートにメモをしています。そして、質問や発言も多いです。



写真16 授業中の様子

2. 言語スキルの向上

最近、授業内容が以前より聞き取れるようになったように感じます。インド系またはマレー系の先生は訛りが強く、聞き取りづらいますが、中国系の先生は比較的聞き取りやすいです。しかし、訛りも長い間、聞いていると慣れてきます。

また、腕試しにTOEICのサンプル問題を解いてみました。すると、リスニング力が飛躍的に向上していることに気づき、驚きました。サンプル問題は発音が綺麗で聞き取りやすく、スピードもゆっくりと感じました。また、リーディングは未知の単語の推測ができるようになり、正答率がupしていました。速読はまだまだなので、これからの課題にしようと思います。マレーシアでもTOEICの受験が可能なので受験してみようと思います。

(生活面)

1. 食事

マレーシアの有名な飲み物の一つに、MILOというものがあります(写真17)。私は日本で見たことはなかったのですが、日本でも販売されているようです。MILOはココアをより甘くして、氷を入れた冷たい飲み物です。初めて飲んだ時は、甘すぎて驚きました。マレーシアは、辛い食べ物は激辛で、甘いものは激甘です。日本人は、辛すぎず、甘すぎないもっと控えめな味の方が好みなのかなと感じました。しかし、MILOはたまに飲むとすごく美味しいです。

次に、Mooncakeについて紹介します。多民族国家のマレーシアでは一年を通して様々な行事やイベントが行われます。その行事の一つに「中秋節(ちゅうしゅうせつ)」というものがあります。この日には月にお供物をし、家族で月を鑑賞するという慣習らしいです。日本の十五夜のようなものだと思います。この慣習は中国が起源で中華系のマレーシアの人々も同様にお祝いするようです。今年は9/29がその中秋節の日で前後2週間くらいの期間限定でお供物として販売されるものがMooncakeです(写真18)。値段は500円前後で少し高いです。Mooncakeは様々な種類があります。私が頂いたものは、中に白餡とアーモンドが入っていました。甘すぎず、素朴な味でとても美味しかったです。少しサイズが大きいので、食べる前に切り分けて、2,3日かけて食べるようです。私は美味しすぎて、ぺろっと一瞬で食べ切ってしまった。



写真17 MILO



写真18 Mooncake

2. イベント

10月末にUTPの卒業式が行われました。UTPは8000人を超えるととても大きな大学です。それゆえ、卒業式は3日間に渡って学部ごとに行われます。日本では珍しい、卒業式特有のローブと帽子を見ることができました（写真19）。また。試着もさせてもらいました。見た目以上に、重たく、年中気温が高いマレーシアでは、すごく暑かったです。右の写真は、去年、崇城大学に留学に来ていたUTPの学生です。皆、とても親切にしてくれています。真ん中の卒業生が博士課程を卒業した学生です。見えにくいですが、帽子が円状のところが特徴です。学部・修士課程の卒業生は、帽子がひし形状です。



写真19 卒業式

式が終わった後に海鮮料理のお店に行きました。そこで、日本ではめずらしいナマズを食べました（写真20-1）。初めてナマズを口にしましたが、臭みはなく、身がプリプリで、とても美味しかったです。マレーシアではナマズはポピュラーだそうです。そして、右下の写真は英語名ではfried oyster、中国語で蠣煎（オーチェン）という牡蠣と卵を一緒に炒めたマレーシアの料理です。牡蠣と卵は相性抜群でした。すごく美味しかったです。日本でも作れるなと思いました。



写真20-1 ナマズ料理



写真20-2 fried oyster

3. 健康

ある日の夜、半ズボンで外に出て、ギターを弾いていました。30分程度で100箇所ほど蚊に刺されました。また、後で調べてわかったのですが、蚊の種類は日本とは違い、また朝晩に蚊がより活発になるようです。マレーシアの蚊に刺されたところは赤くなり、傷跡が完全に治るまでに1ヶ月ほどかかります。また、病原菌を持っている蚊もいるようなのでとても危険です。日本だと、あまり蚊の恐怖は感じませんでしたが、異国だと少し怖く感じ、これ以降、長袖、長ズボンを履くようになりました。マレーシアは年中暑い

ので、半袖しか必要ないと思っていましたが、虫の問題や空調の問題があるので、東南アジアなど、熱帯の地域に行く場合は長袖・長ズボンも準備したほうが良いと思います。ちなみに、もし毒虫に刺された場合は30分ほどは安静にし、様子を見たほうが良いようです。何も変化がなければ市販の薬や皮膚科から処方されたものを使うと良いです。体調に変化がある場合は、救急車ですぐに病院に行ってください。命にかかわる病気もあるみたいです。

写真21 虫さされ

